

第2回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

～カーボンニュートラルに挑む二酸化炭素分離膜開発と今後の展望～

開催案内

一般社団法人 先端膜工学研究推進機構

会員企業各位

平素より当会にご尽力を賜りまして誠に有り難うございます。

この度、先端膜工学研究推進機構といたしまして、昨年度に続いて第2回特定テーマフォーラムの開催を企画しております。今回のテーマは「カーボンニュートラルに挑む二酸化炭素分離膜開発と今後の展望」とさせていただきます。

2020年10月26日、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。我が国は、現在、年間で12億トンを超える温室効果ガスを排出しており、2050年までに、これを実質ゼロにする必要があります。このカーボンニュートラルへの挑戦が、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想で、日本全体で取り組んでいくことが重要です（環境省HP）。この取り組みにおいて、省エネルギーな分離プロセスである膜分離への期待は大きく、特に、燃焼排ガスや大気中からの二酸化炭素回収や、天然ガス・バイオガスにおける二酸化炭素分離などへ応用するための分離膜の研究開発が進められております。今回、産学の各業界において二酸化炭素分離膜の実用化を目指して精力的に取り組んでおられる講師の方々をお迎えし、会員の皆様と突っ込んだ議論ができるようなフォーラムとさせていただきますと思います。

尚、現時点におきましても収まる心配が無い新型コロナウイルスの影響より、今回もZoomにて開催させていただきますと考えております。オンラインミーティングの接続準備をしていただきたくお願い申し上げます。

大変お忙しい中恐縮ですが是非ご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。

日時：令和3年10月27日（水）13:00～17:30

（司会進行 吉岡朋久 先端膜工学研究センター／科学技術イノベーション研究科）

プログラム：

1、はじめに

13:00-13:10 「開会挨拶」 先端膜工学研究推進機構長 松山 秀人 氏

2、第2回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

13:10-13:50 「促進輸送膜によるCO₂分離・回収技術」
(株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ 社長 岡田 治 氏

13:50-14:30 「CO₂の排出削減と有効利用に貢献するDDR型ゼオライト膜プロセスの開発」
日揮ホールディングス株式会社(株) 主任研究員 岡崎 純也 氏

14:30-15:10 「高シリカCHA型ゼオライト膜の特徴とガス分離への応用」
三菱ケミカル(株) 主席研究員 杉田 美樹 氏

15:10-15:20 (休憩・時間調整)

15:20-16:00 「イオン液体を分離媒体とするCO₂分離膜の開発」
神戸大学大学院工学研究科 准教授 神尾 英治 氏

16:00-16:40 「アミン含有ゲル粒子からなるCO₂分離膜の開発」
九州大学大学院工学研究院 准教授 星野 友 氏

16:40-17:30 総合討論 モデレーター 先端膜工学研究推進機構長 松山 秀人 氏

*各ご講演は質疑応答込みで40分を予定しています。

問合せ先

e-mail: eng-membrane@research.kobe-u.ac.jp

電話：078-871-6954 先端膜工学研究推進機構（進藤）

以上